

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第95回廃止措置分科会（R3SC） 議事録

1. 日時 2024年4月17日（水） 15:00-16:30
2. 場所：Web会議 （Webex）
3. 出席者：岡本主査、目黒副主査、杉山幹事、青井、石原、太田、工藤、黒川、
小山、白畑（鈴木委員代理）、高橋、田村、鳥居、湊（仲田委員代理）、
中村、西村、平井、見上
委任状：佐藤
欠席：田中

4. 配布資料

- R3SC-95-0 議事次第（案）
- R3SC-95-1 人事案件（案）
- R3SC-95-2 第94回廃止措置分科会議事録（案）

<技術レポート完本版>

- R3SC-95-3-1 耐震技術レポート本文＋付録＋解説（案）

<田村委員コメント回答案（修正追加）>

- R3SC-95-3-2(1) 耐震技術レポート本文（案）分科会コメント対応表
- R3SC-95-3-2(2) 耐震技術レポート付録C（案）分科会コメント対応表
- R3SC-95-3-2(3) 耐震技術レポート付録D（案）分科会コメント対応表
- R3SC-95-3-2(4) 耐震技術レポート付録E（案）分科会コメント対応表
- R3SC-95-3-2(5) 耐震技術レポート付録F（案）分科会コメント対応表
- R3SC-95-3-2(6) 耐震技術レポート付録G（案）分科会コメント対応表

<専門部会用資料>

- R3SC-95-3-3-1 耐震技術レポート意見募集結果及び審議状況
- R3SC-95-3-3-2 耐震技術レポート本文（案）専門部会コメント対応表
- R3SC-95-3-3-3 耐震技術レポート本文／付録／解説（案）説明資料
- R3SC-95-3-3-4 耐震技術レポート完本版（案）（R3SC-95-3-1と同じため配布無）

<原子力安全検討会用資料>

- R3SC-95-3-4-1 耐震技術レポート意見募集結果とその対応について
- R3SC-95-3-4-2 耐震技術レポート本文（案）原子力安全検討会コメント対応表
- R3SC-95-3-4-3 耐震技術レポート本文／付録／解説（案）説明資料（R3SC-95-3-3と同じため配布無）
- R3SC-95-3-4-4 耐震技術レポート完本版（案）（R3SC-95-3-1と同じため配布無）

5. 議事

(1) 一般事項

- ① 委任を含め19名/20名の出席により分科会成立を確認した。1名は主査に委任。
- ② 人事案件 [R3SC-95-1]
今回は無し
- ③ 次回分科会は、5月24日 9:30～（前回分科会で設定どおり）（オンライン開催）

(2) 前回議事録確認 [R3SC-95-2]

特にコメントなし

(3) 耐震安全技術レポート[R3SC-95-3シリーズ]

- 前回分科会ご欠席であった委員に対し、別途説明を担当の委員から実施した。（4/9）。その結果から、見直したコメント対応について担当委員から資料R3SC-95-3-1及びR3SC-95-3-2(1)～(6)を説明した。追加のコメント等はなかった。
- 担当の委員から専門部会への付議資料について資料R3SC-95-3-3-1～-4により説明された。

資料R3SC-95-3-3-1のコメントNo.1の対応について、技術レポートのタイトル「・・・耐震クラス設定の考え方」とあるが、石川先生への回答の中では「見直しを意図している」としており、整合していない。技術レポート本文の文章はそのままとして、対応方針を見直すように岡本主査からコメントがなされた。また、文章中の文言の“設定”の中には“新しく設定”と“見直して設定”があるので“設定”で問題ないと思われるとコメントがなされた。これに対し、担当の委員から、この考え方は新規に設置する専ら設備にも適用できるとしている。運転段階からの変更という意味を重視して“見直し”としており、その箇所は原文のままとし、その他は“設定”に変更することを検討すると発言された。

- 1) 資料R3SC-95-3-3-1のコメントNo.5「Sクラスにはフローチャート中に菱形があるが、Bクラスでは菱形がないのはどうしてか」については、回答案の説明が分かりにくいとコメントがあった。これに対し、担当の委員から、当該建屋内に安全重要度ランクAに該当する設備がある場合は、安全評価に関わらず支持構造物として耐震クラスSにしなければならない。一方、安全重要度ランクがB以下の設備のみの場合は、支持構造物としては耐震Bクラスでよいが、機器の総放射エネルギーの合算による安全評価で安全重要度ランクがAになる場合は、放射性物質閉じ込めの観点から建屋の耐震クラスをSにする必要がある。そのため、安全重要度ランクBについてはひし形を記載していないとされた。また、岡本主査から、注aの記載が問題ではないかとコメントがあり、担当の委員から、技術レポート本文の図2（旧図3）の注aについてBクラスの説明を削除すればよいと思われるので修正すると発言された。
- 2) 資料R3SC-95-3-3-1の参考で示されている安全検討会のコメント対応No.1について、資料R3SC-95-3-4-2に示されている修正案の「4 基本方針」の文章では「工事遅延のリスク」を「経済的リスク」に書き換えたのはなぜかとコメントがなされた。これに対し、担当の委員から工事遅延による損失と跡地利用の遅れによる経済損失を想定して「経済的リスク」と表現したと発言された。また、岡本主査から、必要な安全確保について経済性は考慮し

ないので、経済性に関しては触れる必要はない。従事者被ばくリスクと周辺公衆の被ばくリスクの説明だけでよいとコメントがなされた。これに対し、担当の委員は経済性に関する説明は削除すると発言された。

- 3) 岡本主査から、技術レポートの「1 はじめに」の文章がよくわからない。また、“この技術レポートでは” が2回続けて出てくるのも違和感がある。「4. 基本方針」に追記する文章を示すので、これを参考に見直すようにコメントがなされた。岡本主査が追記する文章では、廃止措置によって発生する廃棄物のほとんどが一般産業廃棄物で、ごく一部分が放射性廃棄物であること、リスクの大きいものについては相応の耐震性を考えて計画することを示している。

また、安全重要度ランクは設備だけでなく、廃止措置の管理を含む行為に関して設定しているものであり、耐震クラスは設備に対して設定するものと認識しているのではないかと委員からコメントがあり、担当の委員から、この技術レポートの5章（安全評価）では、6章（建屋）では耐震クラスを設備に対して設定しているとされたが、安全重要度ランクの設定と耐震クラスの設定についての書き分けが必要と考えたと委員からコメントがなされた。

- 4) 専門部会への資料提示について、今回のコメントを反映することを条件として委員の賛成多数により可決された。

(4) 今後のスケジュール

- 本日のコメント反映案を今週中（2024/4/19まで）に作成して、委員に送付する。
- 5/8 16:00～ 原子力安全検討会でコメント回答案の説明
- 5/10 9:30～ 基盤応用・廃炉技術専門部会でコメント回答案の説明
- 5/24 9:30～ 第96回 廃止措置分科会

以上